

# 聖武天皇が即位したとき。

— 聖武天皇即位一三〇〇年記念 —

特別陳列

## 聖武天皇の大嘗祭 木簡

奈良国立博物館  
NARA NATIONAL MUSEUM

奈良文化財研究所

展示木簡  
釈文集

\* 二〇二四 平城宮跡資料館秋期特別展  
木簡は二期に分けて展示します。

第一期 一〇月二日(火)ー一二月一七日(日)

第二期 十一月九日(火)ー十二月八日(日)

\* 奈良国立博物館 特別陳列「聖武天皇の大嘗祭木簡」  
会期 一〇月二日(火)ー十一月一日(月)

● 平城宮跡資料館第一期展示 ● 平城宮跡資料館第二期展示 ● 奈良国立博物館展示

1 二人<sup>[皇カ]</sup>

太子<sup>□</sup>

2 □十廷和銅七年十月□

3 ・移請受陵使<sup>□</sup>

・和銅八年五月五日

4 ・智多郡退出大嘗分荒皮一斛

・十月十六日 石

5 佐<sup>[波カ]</sup>郡大嘗押年魚<sup>[千カ]</sup>百十隻

6 ・刑部卿<sup>二</sup>里大嘗分<sup>[谷カ]</sup>

・苦一枚

7 ・<sup>□</sup>郡村社郷高負里大嘗分<sup>□</sup>

100-110 5-12 (44) 5字・通経目 ●

100-112 011 七ノキ料・帳目 ●

245-252 011 七ノキ料・帳目 ●

215-222 5-011 マツ科以外の針葉樹・経目 ●

124次 112-120 5-011 七ノキ料・経目 ●

124次 158A10 平城水陸観經12 17頁上 (72)

55-56 011 平城水陸観經44 11頁中 (10)

55-56 011 平城水陸観經44 11頁中 (11)

8 ・五連和五百嶋

・神龜元年八月廿二日

9 神御苗

10 神御苗

11 ・堅魚五十六

・会

12 ・字投和腊

・小堅魚腊

13 荒堅魚册述

14 海藻六連

15 鳥賊八百隻

16 腊五<sup>□</sup>

100-110 5-011 (44) 七ノキ料・帳目 ●

100-112 011 七ノキ料・帳目 ●

245-252 011 七ノキ料・帳目 ●

215-222 5-011 七ノキ料・経目 ●

124次 112-120 5-011 七ノキ料・経目 ●

124次 158A10 平城水陸観經12 17頁上 (72)

55-56 011 平城水陸観經44 11頁中 (10)

55-56 011 平城水陸観經44 11頁中 (11)

100-110 5-12 (44) 七ノキ料・帳目 ●

.....

- 17 安房国安房郡<sup>〔神餘カ〕</sup>□<sup>〔神カ〕</sup>里<sup>〔神カ〕</sup>□<sup>〔神カ〕</sup>輪廻調陸斤 参拾式条 養老七年十月  
● 110 110 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 18 千栗五斗  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 19 意比腊一斗 大碩  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 20 千廻五十逢  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 21 生栗七斗  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 22 田郡水流郷赤米  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 22 龜元年九月十日  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 23 濁酒卜  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 24 備中国賀陽郡前□<sup>〔水カ〕</sup>  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 25 賀陽郡押栗一石  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 26 賀陽郡踏年魚  
● 110 110 スギ科、椴目 ●
- 27 備中国安賀郡梨六斗  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 28 備中国安賀郡搗栗六斗  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 29 備中国安賀郡蒜根三斗九升  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 30 備中国安賀郡  
赤精米一石 額田部  
● 110 110 スギ科、椴目 ●

- 31 都宇郡小麦一斛  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 32 都宇郡荏子四升  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 33 窪屋郡白猪里神人部持  
麻呂白米一石  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 34 進上樞納調系六十均  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 34 榎部郷系卅四均  
白髮部郷系廿六均  
神龜元年十月十四日<sup>〔日カ〕</sup>  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 35 間人郷餅米一石  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 36 浅口郡白米一石  
米  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 37 備中国手田郡入□<sup>〔水カ〕</sup>里白米五斗  
● 110 110 マツ科以外の針葉樹、椴目 ●
- 38 竹多郡署預子五斗  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 39 竹多郡梨子三斗  
● 110 20 5 022 マツ科以外の針葉樹、椴目 ●
- 40 備中国下道郡黍郡直  
里下道臣名等麻呂膚<sup>〔斗カ〕</sup>六斗  
● 110 110 ヒノキ科、椴目 ●
- 41 備中国下道郡黍郷直見  
里下道臣名□麻呂膚<sup>〔斗カ〕</sup>六斗  
● 110 110 022 ヒノキ科、椴目 ●
- 42 後 郡生栗一石  
● 110 110 022 ヒノキ科、椴目 ●

43・遠太郎塩一石  
・類

(181-11-5-11) 文庫・板目 ●

44・備中国小田郡日下部郷白米一石  
・神龜元年九月

(110-11-1-11) 七ノ木村・板目 ●

45 □ □ 里工作高殿料短枚桁二枝 □ □

(210-11-4-11) 七ノ木村・板目 ●  
(17885-11888) 平城宮本館七11888号

46 西高殿四人 □ □ □ □ □ □

(111-11-1-11) 七ノ木村・板目 ●  
(17885-11888) 平城宮本館七11888号

47 造東高殿 飛騨工カ □ □ □ □ □ □

(111-11-1-11) 七ノ木村・板目 ●  
(17885-11888) 平城宮本館七11888号

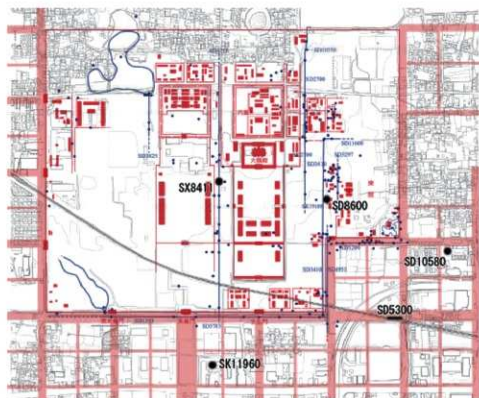
48 油二升一合 大殿常燈料 日別三合 七日料  
○油七合 文基息所燈料 日一合  
油一升四合 天子大坐所燈料

油八合 膳所料 三日料  
油六合 内坐所物備給燈料  
合六升 召女暨息所燈料

〔變X〕  
「聖制正字家著之御草号身聖宮身基御解下」

○七月内

(181-11-5-11) 文庫・板目 ●  
(17885-11888) 平城宮本館七11888号



今回展示する木簡の出土地

地図は縮尺半角 1/10,000 地籍図（令和元年 3月 24日作成）を一部縮小

## 〔木簡が見つかった遺構〕

### SD一〇五八〇 (展示番号1)

平城京左京二条二坊十四坪・平城第五二四次調査(二〇一四年)  
調査区の下層で検出した、南北(最大)四・六m、深さ〇・六五mの東西方向の溝ないし土坑。調査区外東西に延びる。出土した削屑の多くは、人名、日付ないし時刻を示すとみられる十二支の記述が目立ち、「高殿下待舍人」によると、舍人の勤務管理などにかかわる木簡群とみられる。養老七年(七二二)や神龜元年(七二四)の削屑が含まれ、奈良時代前半に属する。木簡は四三五五点(うち削屑四二五三点)出土した。

### SD八六〇〇 (展示番号2、3)

平城宮東院西辺部・平城第一〇四次調査(一九七七年)  
平城宮東院西辺部の、東一坊大路の延長部分にあたり、調査区の北東から南西にかけて斜行する幅約3m、深さ〇・六mの溝。約九二m分検出した。溝の両岸は、シガラミによる護岸を築す。木簡は溝埋土から一〇七点出土し、このほか溝底絶後の灰白色粘土や建築部材片からも一八一点出土した。紀年木簡はいずれも和銅年間(七〇八〜七二五)で、皇太子居所としての東院造営に際して埋め立てられたとみられる。

### 大土坑SK一〇九六〇 (展示番号4、44)

平城京左京三条一坊二坪・平城第六五八次調査(二〇二三〜二四年)  
調査区東北部で検出した東西約二・八m、南北約二・五m、深さ約一・〇mの方形土坑。最下層に木片を中心とした有機物を敷き込み、その上に粘土を積んで埋め、さらにこれをもう一度掘り起こして再び最下層に粟皮・木の葉を主体とする有機物を敷き込み、粒度をあえて不均一に調整した土を積み、さらにこの土を掘り起こして砂層と粘土層を交互に積んで埋める。木簡は、有機物層から二六〇〇点(うち削屑二五〇点)以上出土した(現在洗浄中)。

### SX八四一一 (展示番号45、47)

中央区朝堂院東北隅(第一次大極殿院東南隅)・平城第九七次調査(一九七六年)  
第一次大極殿院・中央区朝堂院の東辺を南流する平城宮の基幹排水路の一つ、SD三七一五に付設された堰状遺構で、一辺約四mの不整形を呈する。東第一堂北端の東に位置する。木簡は一三八点(うち削屑三四点)出土した。

### SD五三〇〇 (展示番号48)

平城京左京二条二坊五坪二条大路・平城第二〇四次調査(一九八九年)  
麻呂邸との間の二条大路路面の南北両端に掘られた濠状の遺構のうち、麻呂邸南門前から二条大路北端に沿って東に延びる遺構。幅二・二〜七m、深さ一・一〜三m、総延長は約五八m。木簡は、約三万五千点(うち削屑約二万九千点)出土した。

※本解説シートでは、今回の展示にあたり再検討した結果、本文を改めている場合があります。  
出典のない本誌は、第六五八次調査出土。  
都合により、予告なく一部展示替えをすることがあります。

(奈良文化財研究所歴史史料研究室)